



市長の 部屋から

16

施策や考えを発信



「可児市を楽しむ」

学校は、夏休み真っ最中です。多くの市民の皆さんが、夏休みの旅行を楽しみにしておられると思います。夏休み期間に1泊以上の旅行に出掛ける人が、今年は国内、海外合わせて過去最高だそうです。お金と時間をかけて、遠いところへ旅行をするのも良いですが、市内でもいろいろ



カタクリの群生



木曾川左岸遊歩道



蘭丸ふるりの森

な楽しいイベントなどが行われています。

例えばこの時期、本紙6ページの「可児夏まつり」のほか、市内のいたるところで夏祭りや盆踊りが行われています。地元の夏祭りや盆踊りだけでなく、ほかの地域で行われる夏祭りや盆踊りへ出掛けてみるという

のはどうでしょうか。

また夏休みの期間中、花フェスタ記念公園では、「キッズサマー」と称して、主に土日日に日替わりで、緑日やいろいろな体験コーナーが催されています。B & G 海洋センターではマリンスポーツの体験やゲームができますし、各地区の公民館では親子で楽しめるイベントや講座が行われます。予約が必要で今年が無理なら、ぜひ来年トライしてみてください。

夏休み以外でも楽しめるところはたくさんあります。特に身近な自然と触れ合えるところがお薦めです。

花フェスタ記念公園では、春と秋のバラまつりをはじめ、年間を通して四季折々花々を楽しむことができます。また、鳩吹山北斜面にある、可

児川下流域自然公園には、毎年3月下旬から4月上旬にかけて、「春の妖精」と呼ばれるカタクリの群生が見られます。木曾川左岸には、遊歩道が整備されています。兼山には、蘭丸ふるりの森があります。

文化にも触れ合えます。アーラでは演劇や音楽などのほか、10月に健康フェア、11月に産業フェアなど、さまざまな催しものが開催されます。わくわく体験館では、気軽に本格的なガラス工芸の体験ができ、家族やグループで宿泊もできます。

一方、有志の皆さんによるイベントもあります。昨年の11月初旬には、帷子地区で花火大会が行われました。今年は10月下旬に開催されるそうです。また、主に若者や子育て世代を対象とする「カニフェス」が、アーラで開催され、多くの皆さんが集まりました。このような催しものは、他にもたくさん行われていると思います。

今後、このような情報も積極的に広報してまいりますので、市民の皆さん、もっと可児市を楽しみましょう。

市長 富田成輝